

保育所・幼稚園  
つぶさないで!!

## 「子ども・子育て会議」でも 市の強引な進め方に異論!

法律が変わって、2015年度からはじまる「子ども・子育て計画」。  
川西市は昨年12月、今後5年間で、市立多田保育所と多田・清和台・東谷幼稚園以外は廃止、5カ所の市立認定こども園と1カ所の民間園に統廃合する計画(案)を突然発表しました。

### ! 現在入所定員の 7割削減だけ明らか

計画(案)では、畦野駅前の緑保育所は廃止、駅から800m坂を登った牧の台小学校敷地内に認定こども園新設(牧の台幼稚園廃止)。加茂保育所は廃止、そこから1200m坂を登った旧加茂小学校敷地内に認定こども園新設(加茂幼稚園廃止(加茂幼稚園は3年前ふたば幼稚園と統廃合で3歳児保育をスタートしたばかり))。

市立松風幼稚園は廃止、その地域に民間園誘致。乳児保育実施の小戸・中央・北保育所と北幼稚園は1カ所の認定こども園新設(※)に統廃合するなど、現在1970人の入所定員の内、1350人分削減するという計画(案)だけが打ち出されました。

(※)市は、「旧松山浄水場跡地」20億円の借金返済を先延ばしする策として、同地に「清掃車両基地など分庁舎業務を移転」、分庁舎跡地に小戸保など4施設を統廃合して認定こども園を建設するとしていました。

### 少子化に歯止めを

日本共産党議員団は、こどもが減るから統廃合ではなく、安心してこどもを産み育てることができる子育て環境の整備・拡大を行い、少子化に歯止めをかけることが自治体の責務だと要求実現にむけて取り組んでいます。施設の老朽化・耐震化対策は急務の課題であり、計画的に行うことも求め続けています。

また、自治体の役割を明確に、市民の声や願いを受け止め、情報提供・説明責任・施策推進すること、寄せられた164ページにも及ぶ642件のパブリックコメントを真摯に受け止め、市民が願う具体的な子育て施策拡充、「子育て一番のまち」めざして市として全力で取り組むことを追求しています。

### かたくな 市の頑な態度と「子ども・子育て会議」

川西市は、パブコメの結果などを受けて、松風幼稚園の廃園時期は「適正な時期を検討」、小戸保育所など4カ所の統廃合は「見直し」をすると一部計画変更。それらを受けて、3月14日開催された「子ども・子育て会議」で、それぞれの委員から「廃園や一体化について文言修正できないか」との提案。市は「廃園を検討しますとトーンを落とすことはできない」「若千の痛み、反対の意見があろうと『廃園』と頑な態度を繰り返すばかり。

会長が最後「市は子育て会議の意見を聴かなければならない。計画の文言は慎重に、幼保のあり方委員会などもつべきだったと付帯意見をつける」と述べ会議を終了しました。

今後、川西市の計画の進め方を注視していきたいと考えています。

### ! 市民・保護者・子育て会議から …不安・懸念・疑問・批判・是正を求める 声請

- パブコメは市民の意見を聴くもの。その実施中に「なぜ、計画(案)通りの予算が計上されているのか?!
- 待機児童が増加しているのに廃園なんて。保育所は足りない
- 保育所入所は、こどもが修了するまでの間、市と保護者の契約。不履行にするなど大問題!
- 何を聞いても「決まっていない」「パブリックコメントに書いてくれ」説明会って何のため?!
- 来年度入所予定の保護者にも「廃園・認定こども園化」は知らされず、入所決定と一緒に送付されるなんてあまりにも説明不足過ぎ
- こども達の大好きな保育所。無くなるのは本当に困ります
- 新設園の目の前に消防署を建設する計画にびっくり。何を考えているのか?!
- 「松風幼稚園廃園しないで」の署名が8885筆も。廃園先延ばしだけでいいのか?!
- 幼稚園でも3歳児保育や延長保育を実施してから廃園を検討すべき
- 魅力ある計画、不安を拭い去る具体的なビジョンを
- 強引な進め方は問題、文言修正できないのか?! (パブリックコメントの結果は市のホームページ上で公開中)

日本共産党 川西市議員団  
議会報告 2015年春季号

川西市中央町12-1 川西市役所6F TEL:072(740)1111 (内線 4020)  
メール: jcp-kawanisigi@helen.ocn.ne.jp 共産党川西 検索  
議員団直通FAX: 072 (759) 1811



住田由之輔  
TEL 090-9283-6739

ブログ  
住田由之輔 検索



黒田みち  
TEL 090-9987-7909

ブログ たんぽぽだより  
黒田みち 検索



北野のり子  
TEL 080-3134-0618

ブログ  
北野のり子 検索





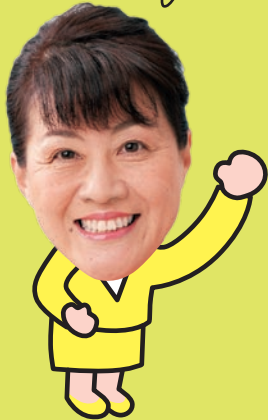
### 集団的自衛権行使容認の「閣議決定」を撤回するよう国に求める請願

(委員会で賛成は、日本共産党議員団のみ)

閣議決定は、憲法9条の下では「海外で武力行使はゆるされない」という従来の政府見解を180度転換、「海外で戦争する国」へ道を開くものです。

日本共産党議員団は、「9条を守ること、議会から積極的に声をあげること、地方議員自らが平和への行動をとること」を強く訴えました。ところが、「尖閣諸島やイスラム国の問題がある。国民を守る集団的自衛権が急務であり必要」、「日米同盟強化のために必要」、「もう閣議決定したのだから」等と他の委員は反対しました。

命一番!



### 中学3年生まで、通院・入院とも医療費無料化を求める請願

(委員会で賛成は、自治市民クラブ、日本共産党議員団)

日本共産党議員団は、子育て世代を市に呼び込むために所得制限をなくすこと、子どもたちの命と健康を守るために中学3年生までの医療費無料化を求めています。ところが日本共産党議員団と自治市民クラブ以外の委員は、財政難等を理由に市民の願いに反対しました。

2015年度兵庫県内では、30市町(現在:24市町で実施)で、中学3年生まで子どもの医療費無料化が進みます。

川西市では、ようやく7月より小学3年生まで通院医療費の無料化がはじまります(入院は中学3年生まで無料)。

住民の命・くらしを守る  
市政をめぐって

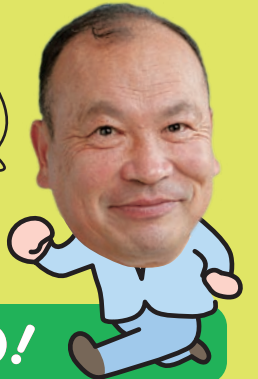
### 政務活動費 住民の立場で行政と議会をチェック!

昨年、不透明な使途を指摘された元兵庫県議が記者会見で号泣したのを機に注目を集め、さまざまな問題点が指摘されている政務活動費。川西市では、日本共産党議員団が1円からの領収書添付とホームページでの全面公開を求め続け、2009年度分より実現しています。

### 政党助成金 企業・団体献金は キッパリ廃止を!

日本共産党は、「政党助成金廃止法案」を提出。また、政党支部への献金やパーティ券購入等も禁止する企業・団体献金全面禁止法案を準備中。

ムダ遣い NO!



### 消費税増税、社会保障削減 押しつけNO!

社会保障のためだと消費税を増税しておきながら、社会保障に使われているのはごくわずか。2015年度は、国民健康保険税も介護保険料も値上げです。

安倍政権の暴走政治ストップ

未来に責任!



#### 国保は値上げ

来年度国保は、1億2000万円もの値上げ。保険税限度額が85万円、収入の1割以上を占める保険税負担など、すでに限界です。

こうした状況の下、国は、2018年度より、国保の運営主体を都道府県化する予定ですが、国保の構造的な問題を解決せず移行すれば、保険税の値上げにつながるだけです。

日本共産党議員団は、国に対して、国庫負担金の増額、自治体が行う福祉医療費助成制度(乳幼児・高齢者・障がい者等)へのペナルティ廃止、市として一般会計からの繰り入れを行い、保険税の引下げを強く求めています。

#### 介護は改悪 後期高齢者医療制度も

2億4500万円の介護保険料の値上げに加え、対象者の26%がサービス利用率1割から2割へ。さらに「要支援1、2」の介護給付打ち切り、特養ホーム入所は、「要介護3以上」へ限定など改悪も次々と強行されようとしています。

その上、後期高齢者医療保険制度の特例軽減措置を廃止することが明らかに。開始時期は先延ばしされましたが、高齢者への負担強化で必要な医療を受けることができない事態も起こりかねません。

日本共産党議員団は、高齢者と家族が安心できる介護サービスが保障されるよう国に対して制度の改善を求めること、市としても現状のサービスを低下させないよう訴えています。

### 福島原発事故から4年 原発ゼロ、再稼働反対の声を一緒に

福島では、4年経った今も避難生活を余儀なくされている方が12万人。それでも国は、原発再稼働を進めようとしています。

昨年の大飯原発3、4号機の裁判では、人の生命と生業を基礎とする人格権をもっと重視し、これを超える価値を他に見出すことができないと強調。裁判長は、「運転してはならない」と判断を下しています。

川西市からわずか80km圏に、福井県にある大飯原発をはじめたくさんの原発が立地、他人ごとではありません。大飯原発はもとより全国の原発の再稼働は断念すべきです。

日本共産党議員団は、再稼働を許さず、「原発ゼロの日本」を実現することや被災者の生活再建への支援強化を求め力を尽くしています。

日本共産党議員団 は、憲法守りいかにします!